



決算査 審

決算特別委員会

委員長 弥吉治一郎



平成18年度の一般会計や下水道事業などの特別会計、病院事業など企業会計のお金の使い道(決算)を審査した。

一般会計158億円の歳入では固定資産税などの滞納が5億円以上上ることが指摘され、今後は差し押さえなどの法的措置を強化する方針が示された。また現在公示価格の6割で課税されている固定資産税は今後評価を1割引き上げ課税する意向が示された。

「下水道事業」では予定より借金(67億円)が増え財政を圧迫していることが指摘され、早急な事業の見直しを検討されることになった。「上水道事業」は1億2,000万円の赤字、

- 「病院事業」では9,000万円の赤字経営との報告がされた。主な質疑として、
- 問** ミュニティ放送が届いていない地域の解消を。
- 答** 聞こえないエリアを把握し対応する。
- 問** 浄化槽設置補助金予算が年度内に不足した時は。
- 答** 補正予算で対応できないか検討する。
- 問** 流域下水管との接続で市汚水処理場の経費9,000万円の節減が可能か。
- 答** 接続を検討する。
- 問** 敬老祝い金の一方的な削減は問題では。
- 答** 事務事業評価で削減した。老人クラブは18年2月理事会で承認。
- 問** 学童保育への市負担を増額すべきでは。
- 答** 来年度に向け検討中だ。
- 問** 請負工事は一般競争入札で発注すべきでは。
- 答** 20年度から実施する方向で検討している。
- 問** ふれあいの里づくり事業の成果説明が必要、また20年度の予算措置は。
- 答** 成果説明は行う。予算

への計上は1箇所。

問 農業委員も定数改定が必要では。

答 現在意見を調整中だ。3日間に及ぶ審査の結果、一般会計・特別会計決算は賛成多数で、企業会計決算は全員賛成で認定した。

◇平成18年度一般会計の決算額

区 分	歳 入	歳 出
決 算 額	158億7,148万8千円	153億465万5千円
対前年度増減額	△4億3,631万3千円	△6億2,520万3千円

◇平成18年度特別会計の決算額(地域包括支援センター事業勘定は18年度から)

会計区分		決算額(対前年比)		会計区分		決算額(対前年比)	
国民健康保険	歳入	50億4,416万3千円(3.9%)	50億1,131万円(3.5%)	市営住宅敷金管理	歳入	2,211万9千円(0.6%)	56万9千円(△24.7%)
	歳出	50億1,131万円(3.5%)			歳出	56万9千円(△24.7%)	
老人保健	歳入	50億431万5千円(△7.7%)	49億9,579万円(△7.6%)	住宅新築資金等貸付	歳入	644万4千円(△18.3%)	8,157万9千円(4.4%)
	歳出	49億9,579万円(△7.6%)			歳出	8,157万9千円(4.4%)	
介護保険	保険事業勘定	歳入	25億2,323万3千円(7.2%)	下水道事業	歳入	11億2,584万2千円(△21.1%)	11億1,862万1千円(△20.8%)
		歳出	24億1,936万2千円(3.3%)		歳出	11億1,862万1千円(△20.8%)	
介護保険	"地域包括支援センター事業勘定"	歳入	1,798万8千円(-)				
		歳出	2,220万6千円(-)				